



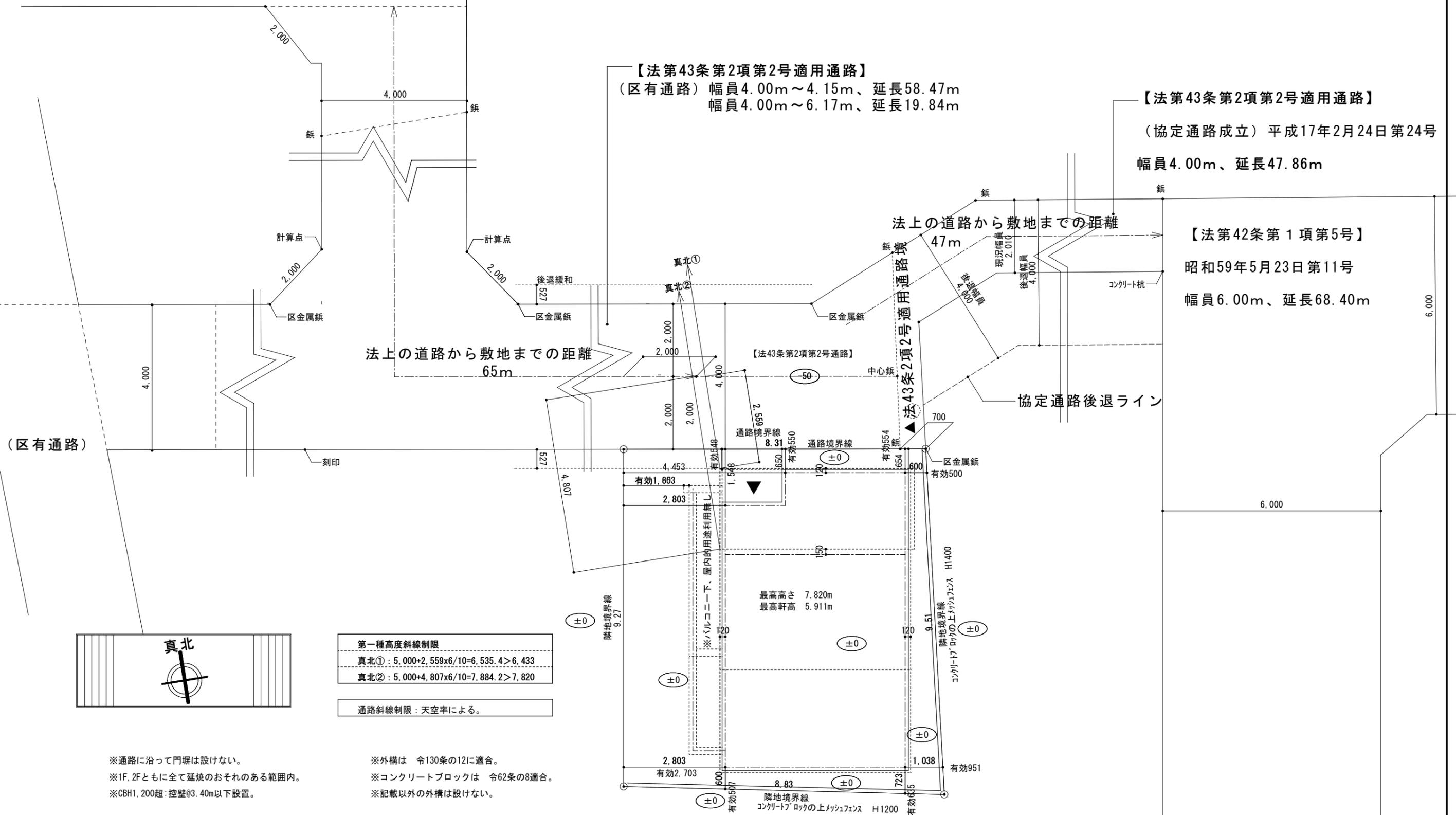
【法第42条第1項第1号】  
 練馬区一般区道33-365号線  
 認定幅員2.72m~7.85m

配置図 S=1:100

【法第43条第2項第2号適用通路】  
 (区有通路) 幅員4.00m~4.15m、延長58.47m  
 幅員4.00m~6.17m、延長19.84m

【法第43条第2項第2号適用通路】  
 (協定通路成立) 平成17年2月24日第24号  
 幅員4.00m、延長47.86m

【法第42条第1項第5号】  
 昭和59年5月23日第11号  
 幅員6.00m、延長68.40m



第一種高度斜線制限  
 真北①:  $5,000 + 2,559 \times 6 / 10 = 6,535.4 > 6,433$   
 真北②:  $5,000 + 4,807 \times 6 / 10 = 7,884.2 > 7,820$

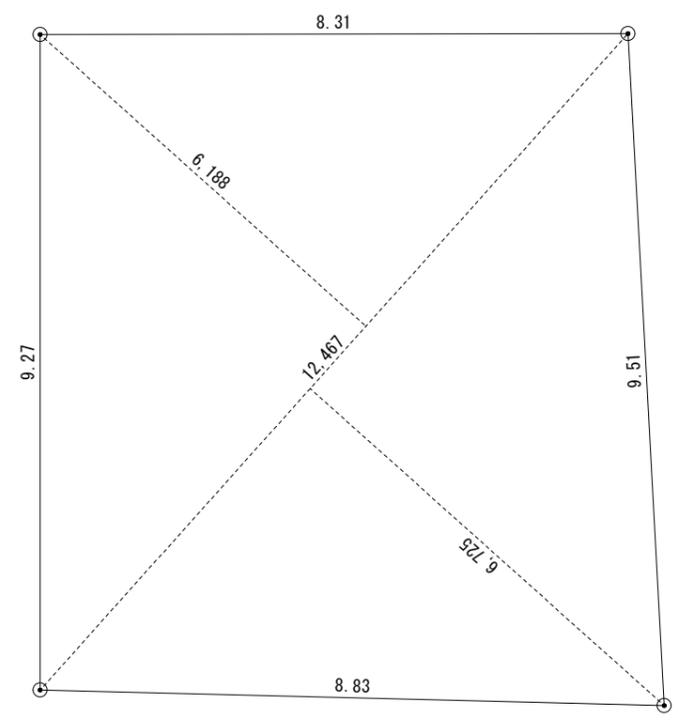
通路斜線制限: 天空率による。



※通路に沿って門扉は設けない。  
 ※1F, 2Fともに全て延焼のおそれのある範囲内。  
 ※CBH1, 200超: 控壁@3.40m以下設置。

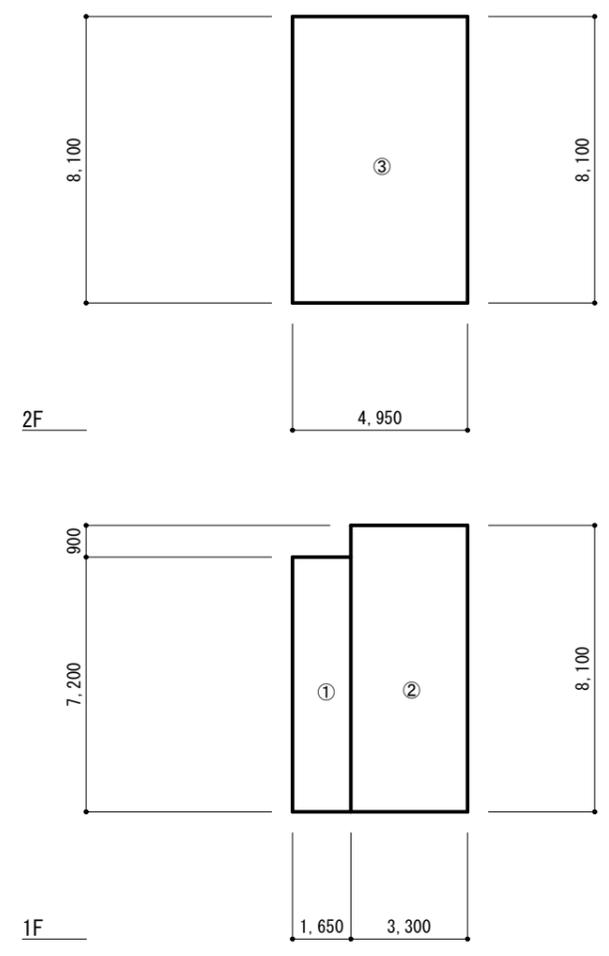
※外構は 令130条の12に適合。  
 ※コンクリートブロックは 令62条の8適合。  
 ※記載以外の外構は設けない。

敷地求積図 S=1:100



番号	底辺	高さ	倍面積
1	12.467	6.188	77.1458
2	12.467	6.725	83.8406
合計			160.9864
			80.49320
敷地面積			80.49㎡

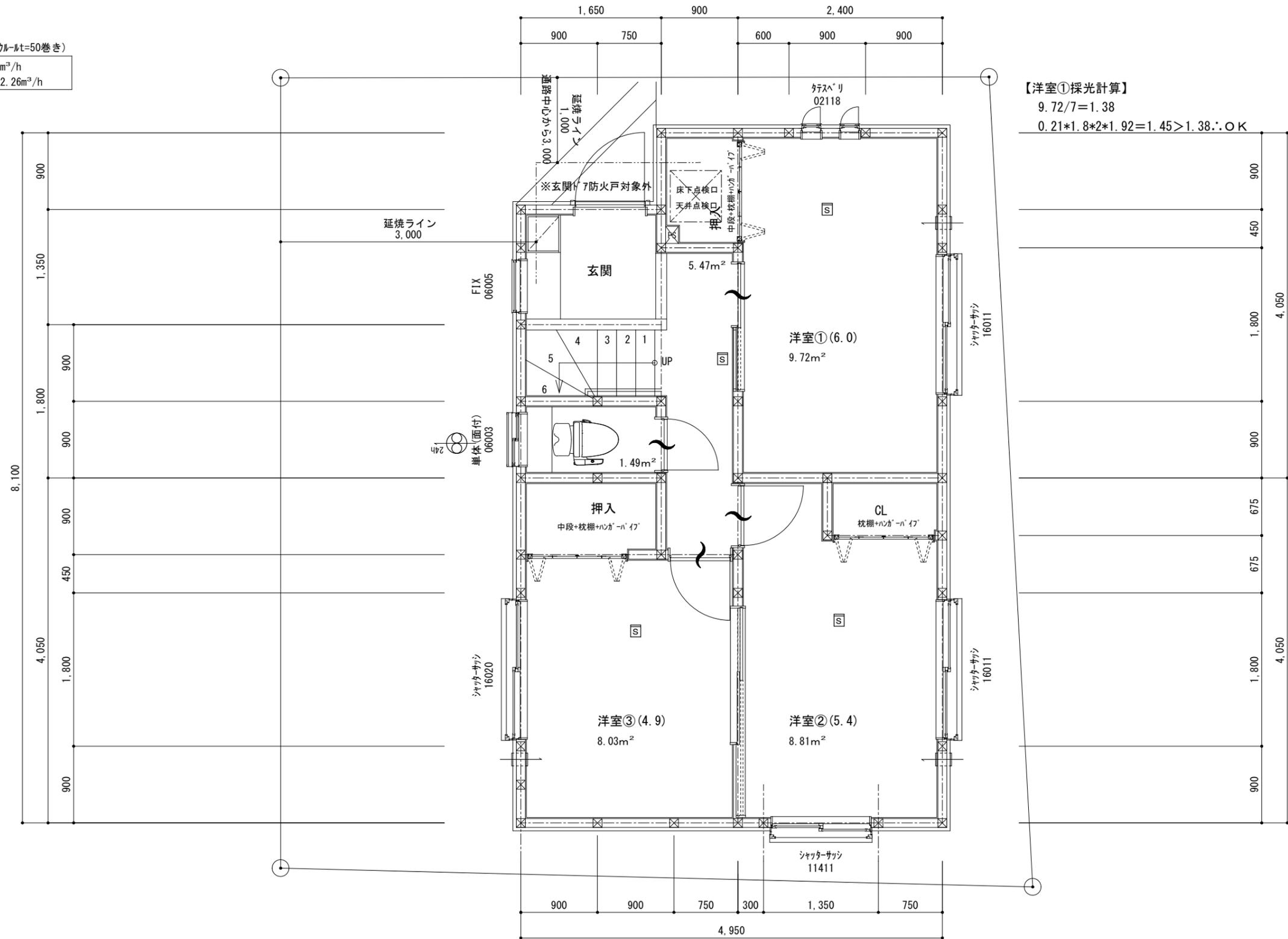
面積表 S=1:200



①	7.200	x	1.650	=	11.8800		1階床面積 : S1
②	8.100	x	3.300	=	26.7300	38.61	①~② 38.61㎡
③	8.100	x	4.950	=	40.0950	40.10	車庫部分: -㎡
							住宅部分: ①~② 38.61㎡
-----							
2階床面積 : S2							
							40.10
							③~④ 40.10㎡
							78.71
-----							
ロフト面積 : 15.59㎡ < 40.10㎡/2=20.05㎡							
							3.150 x 4.950 = 15.5925
-----							
延床面積							
							S1+S2 78.71㎡
-----							
建築面積							
							S1 40.10㎡
							49.82%
-----							
容積対象面積							
							S1+S2 78.71㎡
							97.79%

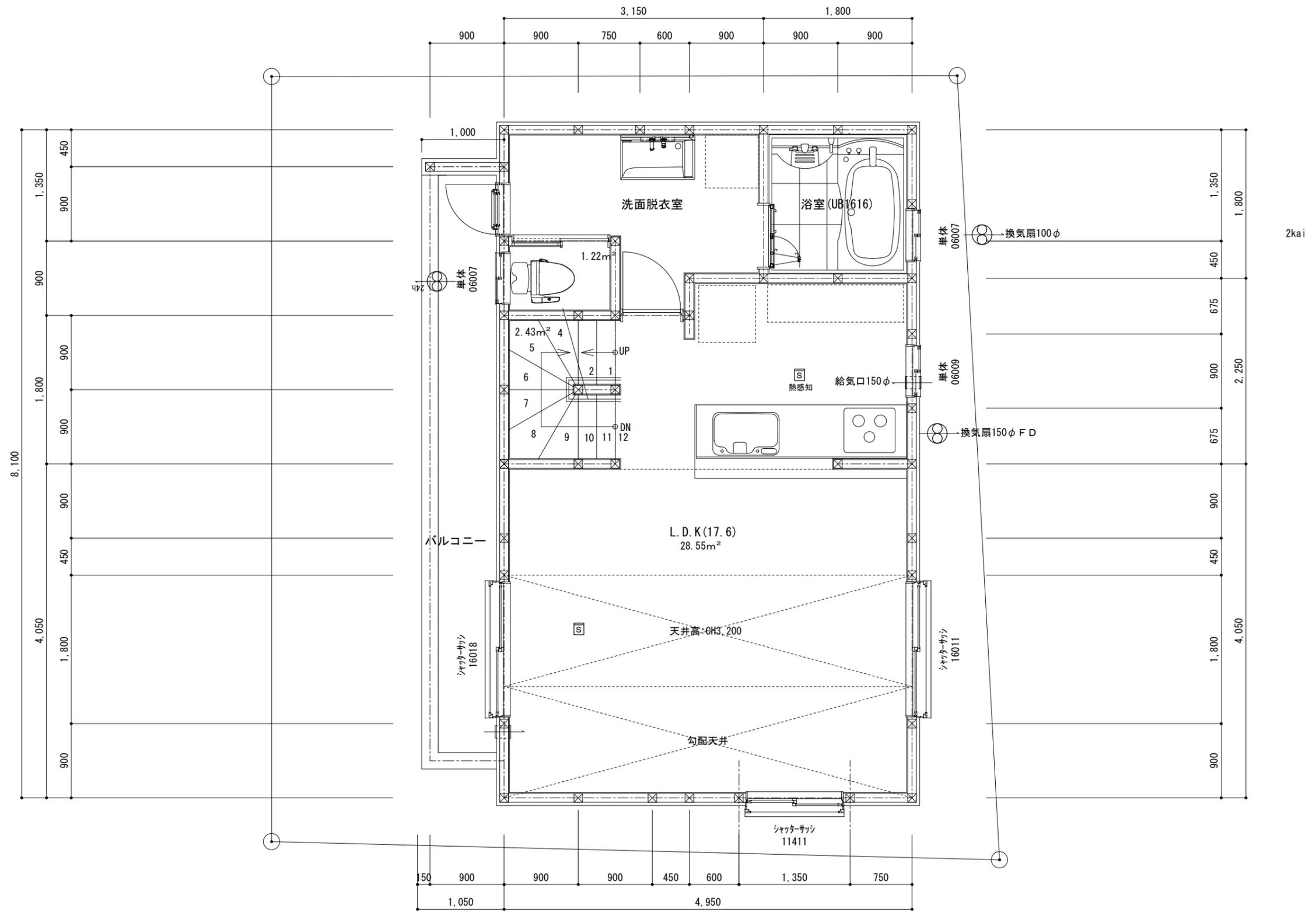
(スパイラルダクトの上ロックールt=50巻き)

レンジフード BH-626B、C 312m³/h  
V=30KQ=30x0.93x9.40=262.26m³/h



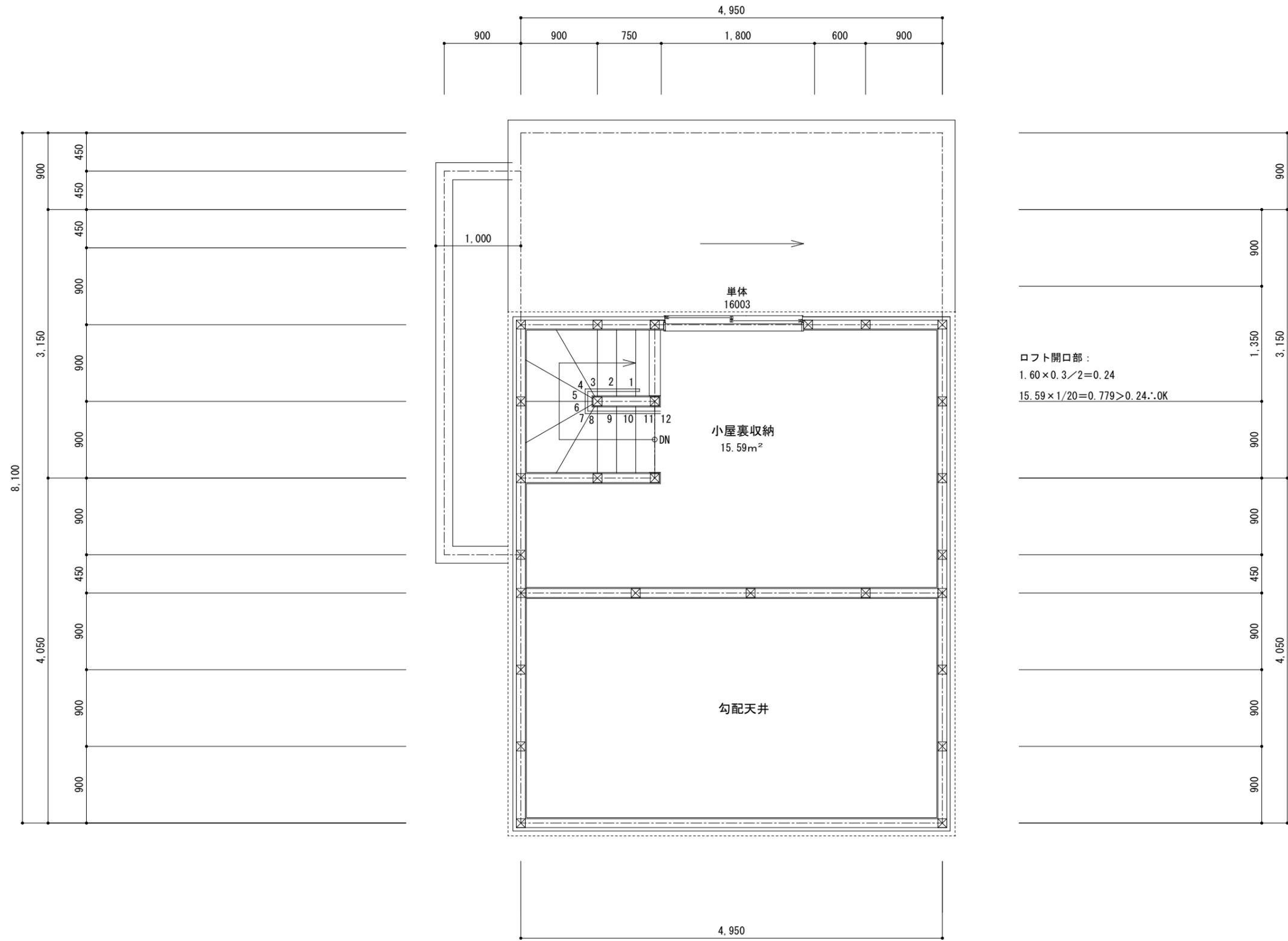
【洋室①採光計算】  
9.72/7=1.38  
0.21\*1.8\*2\*1.92=1.45 > 1.38 ∴ OK

凡例	住宅用火災警報器	24h換気(第3種)	火気使用室仕上		真北 	
⊗ 1~2F通し柱 120 x 120	※設置位置 天井~壁から60cm以上の位置	⊗ <sup>24h</sup> 排気ファン100φ SVC (FD)	壁 石膏ボード7) 12.5mm 下地	天井 石膏ボード7) 9.5mm 下地		※外部建具は全て防火設備とする。
⊠ 管柱 105 x 105	壁 ~天井から15cm以上50cm以内の位置	⊠ 給気口 100φ SVC (FD)	準不燃ビニールクロス貼 (QM-9446)	準不燃ビニールクロス貼 (QM-9446)		(EB-9111~9119)
外周部: 構造用合板t=9mm貼	※空気吹出口から1.50m以上離す。	〰 通気確保される建具 アンダーカット10mm	キッチンパネル (NM-1699)			



凡例	住宅用火災警報器	24h換気(第3種)	階段寸法(有効幅750)	2kai
⊗ 1~2F通し柱 120 x 120	※設置位置 天井~壁から60cm以上の位置	⊗ <sup>24h</sup> 排気ファン100φ SVC (FD)	1~2階(12段) 2~R階(12段)	※外部建具は全て防火設備とする。
⊠ 管柱 105 x 105	壁 ~天井から15cm以上50cm以内の位置	⊠ 給気口 100φ SVC (FD)	蹴上 225.00 mm 225.00 mm	(EB-9111~9119)
外周部:構造用合板t=9mm貼	※空気吹出口から1.50m以上離す。	〰 通気の確保される建具 アンダーカット10mm	踏面 225.00 mm 225.00 mm	





凡例	住宅用火災警報器	24h換気(第3種)		真北 
⊗ 1~2F通し柱 120 x 120	※設置位置 天井~壁から60cm以上の位置	⊗ <sup>24h</sup> 排気ファン100φ SVC (FD)	※外部建具は全て防火設備とする。	
⊠ 管柱 105 x 105	壁 ~天井から15cm以上50cm以内の位置	⊠ 給気口 100φ SVC (FD)	(EB-9111~9119)	
	※空気吹出口から1.50m以上離す。	〰 通気の確保される建具 アンダーカット10mm		

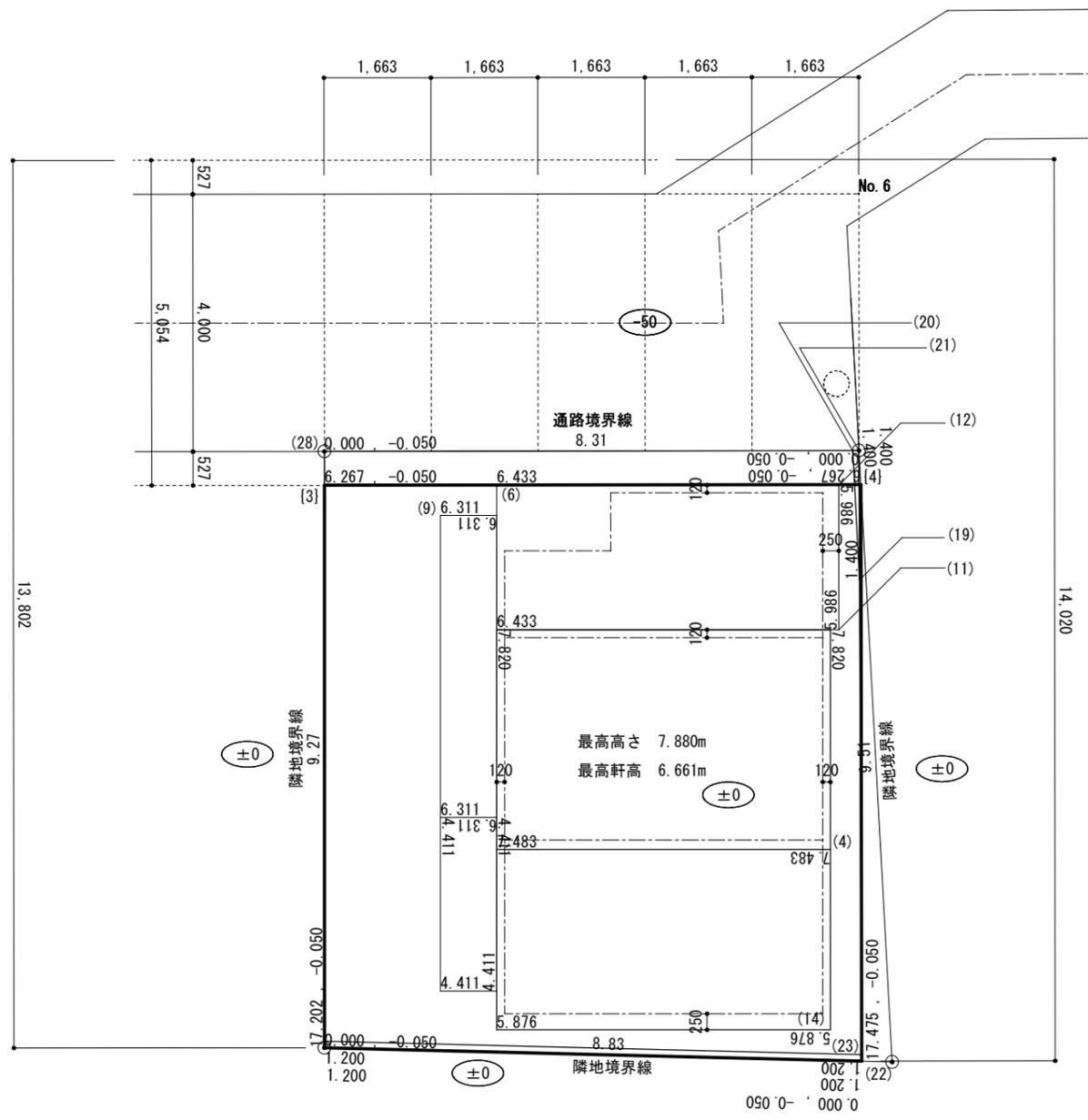
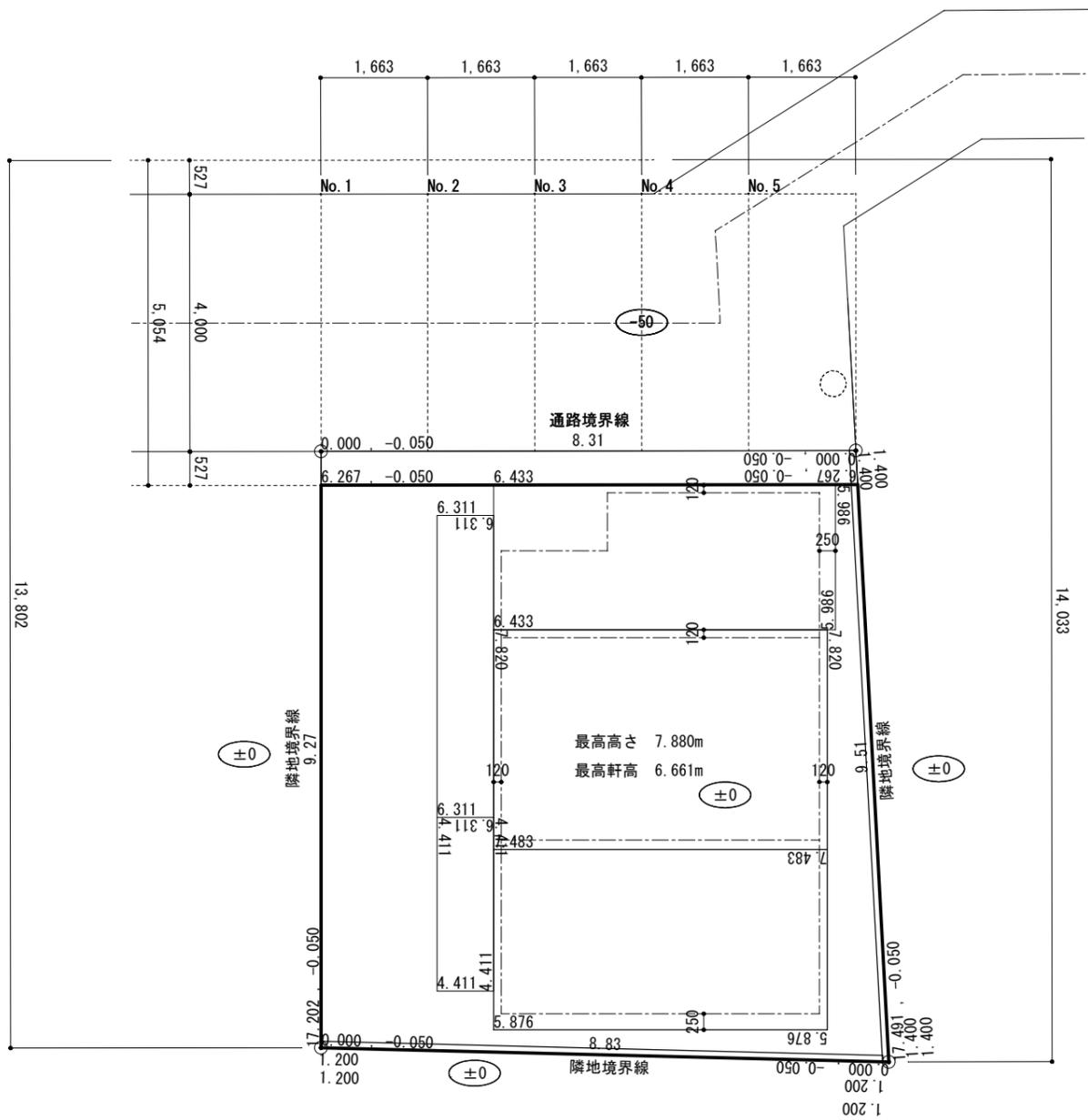


準耐火仕様 45分

<p>外壁+ (1, 2階天井 2, 3階床)</p> <p>外部 (2, 3階床)                  床仕上材/フローリング (7) 12                  床下張り/構造用合板 (7) 24</p> <p>内部 (1, 2階天井)                  ファイアーストップ (7) 30                  天井下地/強化PB (7) 15.0 (準不燃-NM同等品)                  PB (7) 15.0+ビニールクロス貼 (準不燃-NM同等品)                  構造用合板 (7) 9+サイディング張り (7) 16.0 (45分準耐火: QF045BE-9226)</p>	<p>内壁+ (1, 2階天井 2, 3階床)</p> <p>内壁: 告示1358号第1第一項ハ(1)(ii)</p> <p>内部 (2, 3階床)                  床仕上材/フローリング (7) 12                  床下張り/構造用合板 (7) 24</p> <p>内部 (1, 2階天井)                  天井下地/強化PB (7) 15.0 (準不燃-NM同等品)                  PB (7) 15.0+ビニールクロス貼 (準不燃-NM同等品)</p> <p>車庫 天井下地/強化PB (7) 15.0</p>	<p>(1, 2階天井 2, 3階床)</p> <p>床: 告示1358号第3第三項イ(3)                  天井: 告示1358号第3第三項ロ(2)</p> <p>内部 (2, 3階床)                  床仕上材/フローリング (7) 12                  床下張り/構造用合板 (7) 24</p> <p>内部 (1, 2階天井)                  天井下地/強化PB (7) 15.0 (準不燃-NM同等品)</p> <p>天井: 軒裏サイディング軒裏(QF045RS-9122)                  壁: 外壁に " (QF045BE-9226)</p>	<p>屋根下地</p> <p>(屋根)                  屋根: コロニアル葺 (NM-9567)                  屋根下地/アスファルトフィング 22Kg</p> <p>ファイアーストップ (7) 30</p> <p>天井下地/強化PB (7) 15.0 (準不燃-NM同等品)</p> <p>破風: 繊維混入セメント押出成形板 (7) 12 (NM-1799)                  軒裏: 珪酸カルシウム板 (ア) 12 防火 (QF045RS-9122)</p>
---	--	---	--

準耐火仕様 45分

<p>階段</p> <p>階段: 告示1358号第6第三項イ</p> <p>段板 (7) 36 PB (7) 15.0</p> <p>段裏/強化PB (7) 15.0 ササラ板 (7) 36</p> <p>段裏/強化PB (7) 15</p> <p>ササラ板 (7) 36</p> <p>段裏/強化PB (7) 15</p>	<p>バルコニー (2F)</p> <p>バルコニー仕上げ                  下部屋内 手すりH=1100                  床: 構造用合板 (ア) 12</p> <p>ルーフバルコニー (3F)                  床: 構造用合板t=24+ケイカル板t=12下地 FRP仕上 (DR0267)                  直下の天井: 天井下地/強化PB (7) 15.0 (準不燃-NM同等品)</p> <p>構造用合板t=24+ケイカル板t=12下地 FRP仕上 (DR0267)</p> <p>1.100以上</p> <p>水上</p> <p>1/50勾配</p> <p>オーバーハング水切</p> <p>軒裏: 珪酸カルシウム板 (ア) 12 防火 (QF045RS-9122)</p> <p>※防水の立ち上げは最低250を確保する事                  窓下の場合は最低120を確保する事</p>
--	---

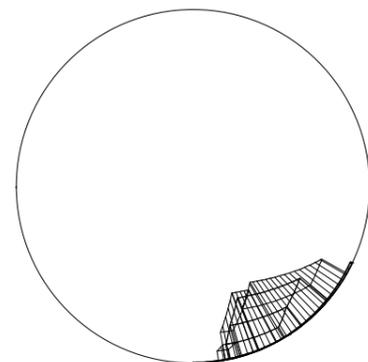


※通路に沿って門塀は設けない。  
 ※記載以外の外構を設けない。

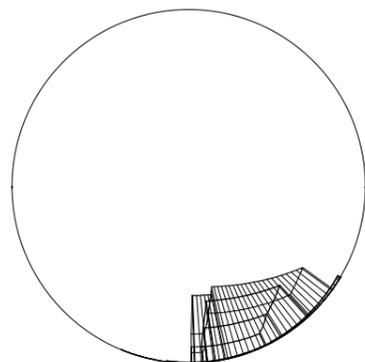


※通路に沿って門塀は設けない。  
 ※記載以外の外構を設けない。

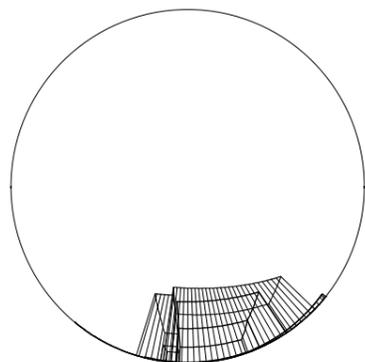
計画建築物



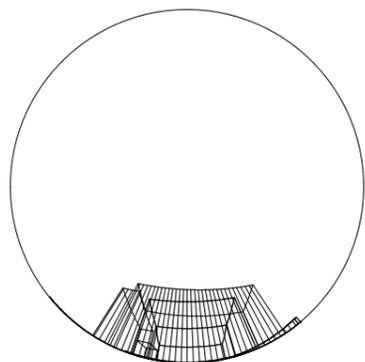
測定点 No. 1  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 93.012 %



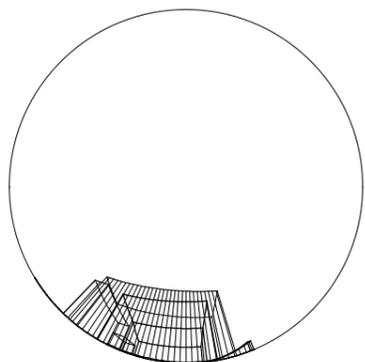
測定点 No. 2  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 91.477 %



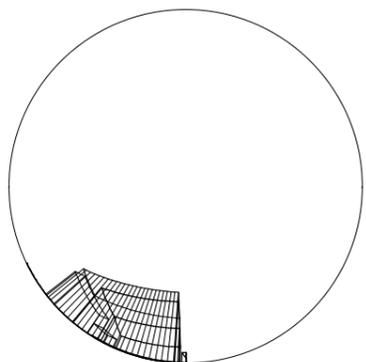
測定点 No. 3  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 89.269 %



測定点 No. 4  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 88.382 %



測定点 No. 5  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 89.487 %



測定点 No. 6  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 91.977 %

▽ 2.500

▽ 4.068

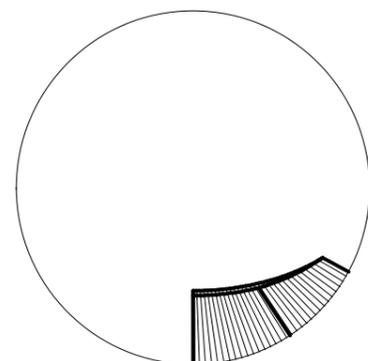
▽ 3.610

▽ 2.738

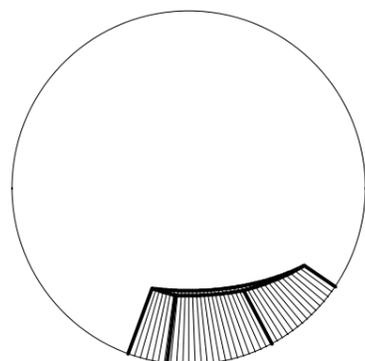
▽ 2.119

▽ 1.514

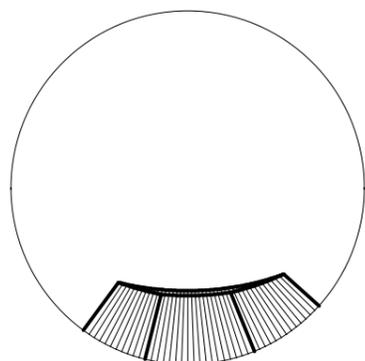
適合建築物



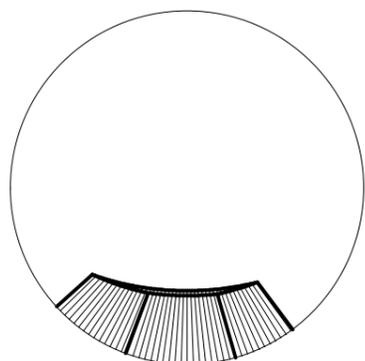
測定点 No. 1  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 90.512 %



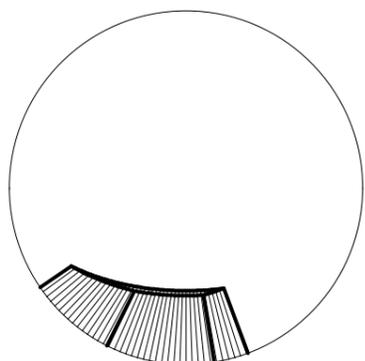
測定点 No. 2  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 87.409 %



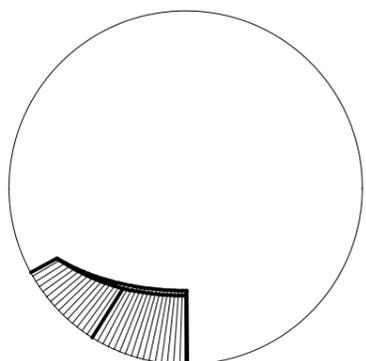
測定点 No. 3  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 85.659 %



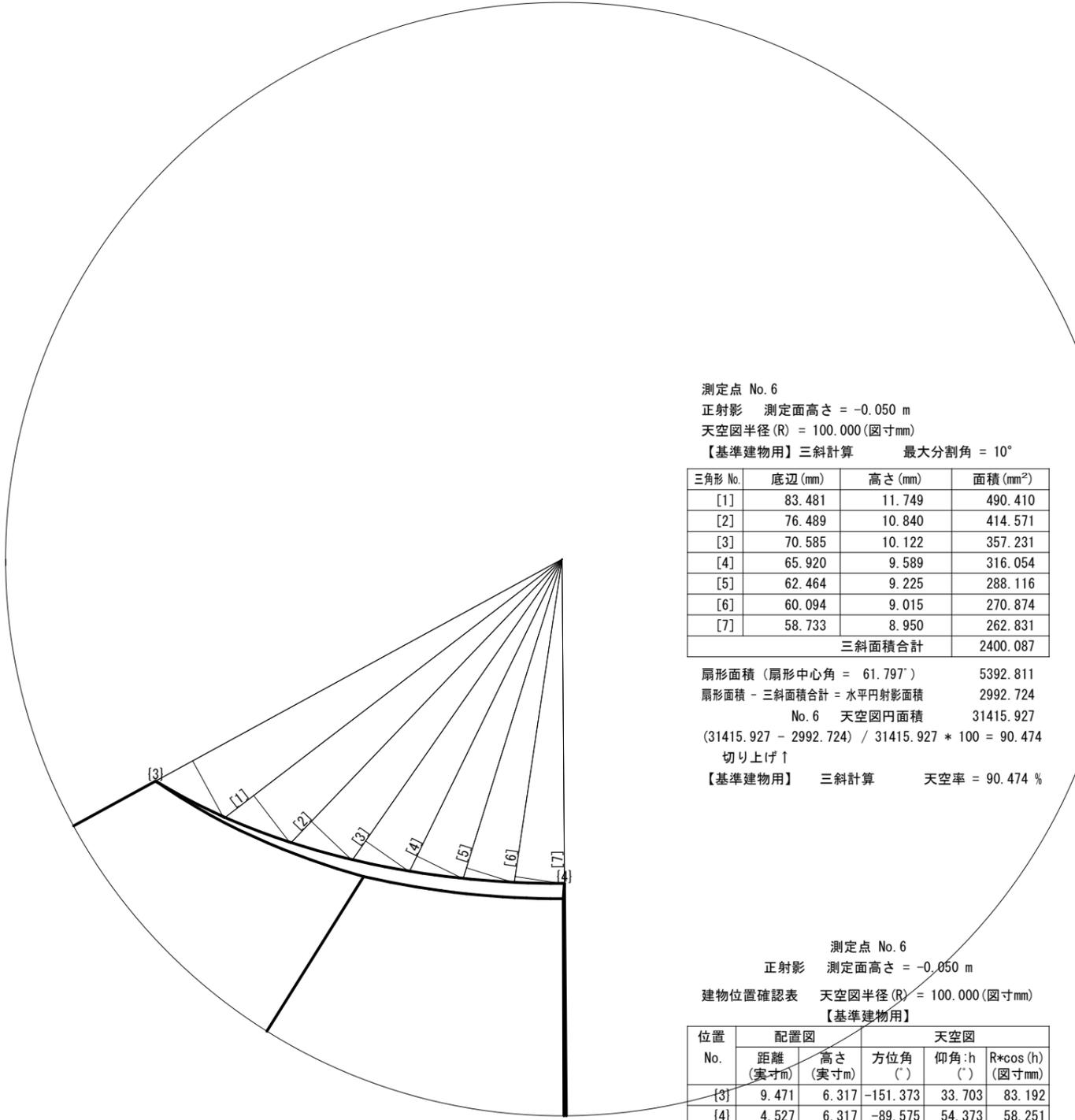
測定点 No. 4  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 85.644 %



測定点 No. 5  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 87.368 %



測定点 No. 6  
正射影 測定面高さ = -0.050 m  
天空率 = 90.463 %



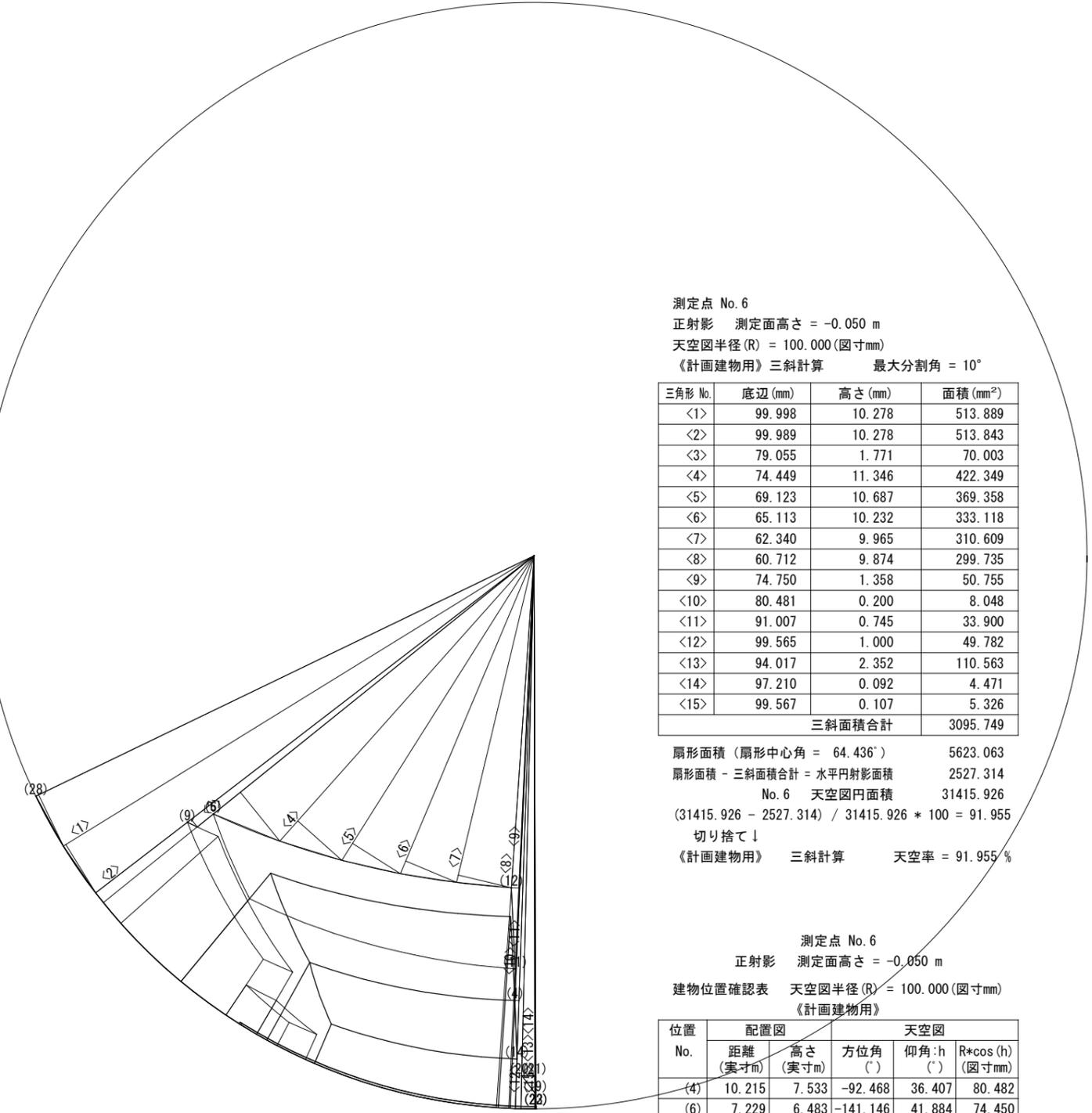
測定点 No. 6  
 正射影 測定面高さ = -0.050 m  
 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 【基準建物用】三斜計算 最大分割角 = 10°

三角形 No.	底辺 (mm)	高さ (mm)	面積 (mm <sup>2</sup> )
[1]	83.481	11.749	490.410
[2]	76.489	10.840	414.571
[3]	70.585	10.122	357.231
[4]	65.920	9.589	316.054
[5]	62.464	9.225	288.116
[6]	60.094	9.015	270.874
[7]	58.733	8.950	262.831
三斜面積合計			2400.087

扇形面積 (扇形中心角 = 61.797°) 5392.811  
 扇形面積 - 三斜面積合計 = 水平円射影面積 2992.724  
 No. 6 天空図円面積 31415.927  
 $(31415.927 - 2992.724) / 31415.927 * 100 = 90.474$   
 切り上げ↑  
 【基準建物用】三斜計算 天空率 = 90.474 %

測定点 No. 6  
 正射影 測定面高さ = -0.050 m  
 建物位置確認表 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 【基準建物用】

位置 No.	配置図		天空図		
	距離 (実寸m)	高さ (実寸m)	方位角 (°)	仰角:h (°)	R*cos(h) (図寸mm)
[3]	9.471	6.317	-151.373	33.703	83.192
[4]	4.527	6.317	-89.575	54.373	58.251



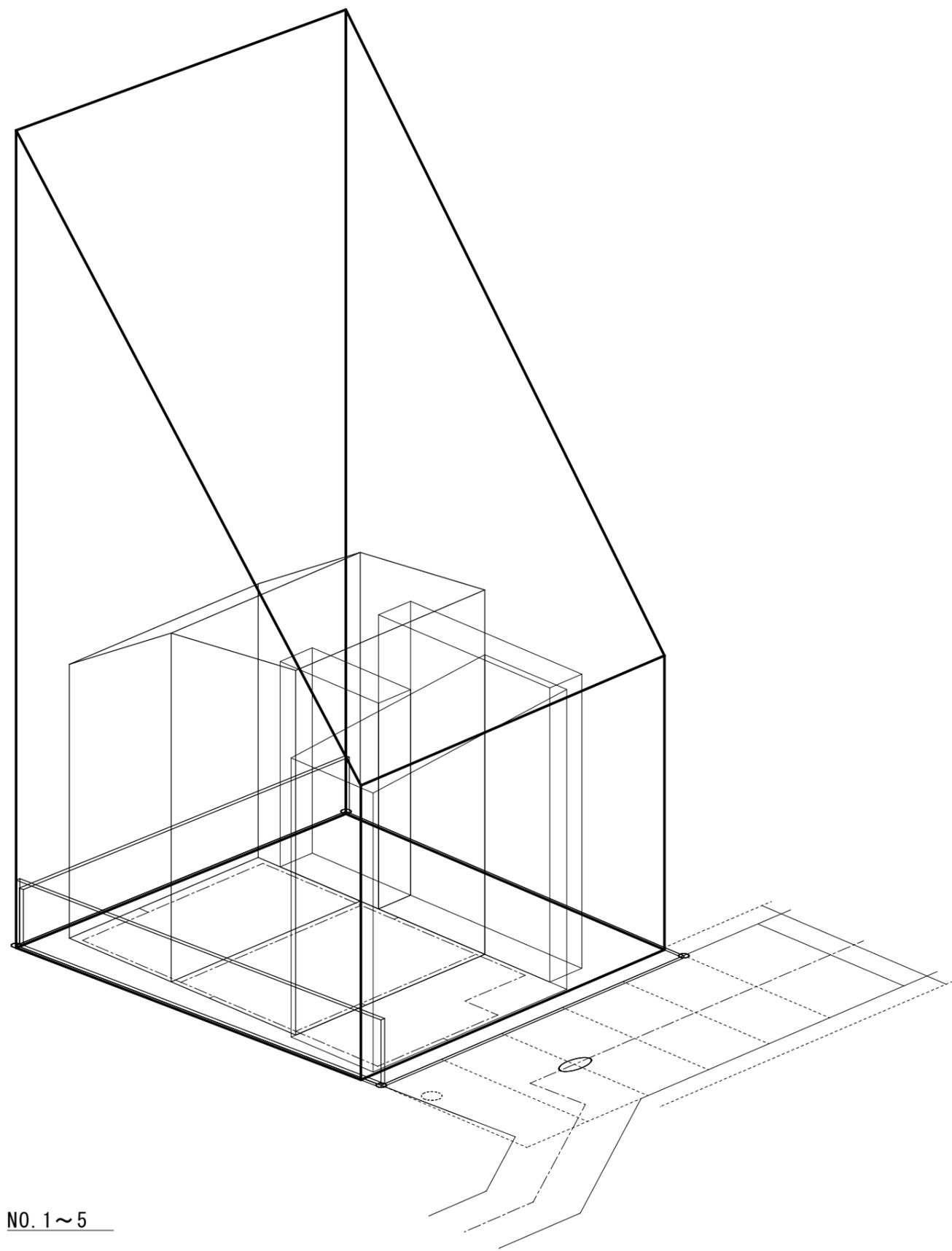
測定点 No. 6  
 正射影 測定面高さ = -0.050 m  
 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 《計画建物用》三斜計算 最大分割角 = 10°

三角形 No.	底辺 (mm)	高さ (mm)	面積 (mm <sup>2</sup> )
<1>	99.998	10.278	513.889
<2>	99.989	10.278	513.843
<3>	79.055	1.771	70.003
<4>	74.449	11.346	422.349
<5>	69.123	10.687	369.358
<6>	65.113	10.232	333.118
<7>	62.340	9.965	310.609
<8>	60.712	9.874	299.735
<9>	74.750	1.358	50.755
<10>	80.481	0.200	8.048
<11>	91.007	0.745	33.900
<12>	99.565	1.000	49.782
<13>	94.017	2.352	110.563
<14>	97.210	0.092	4.471
<15>	99.567	0.107	5.326
三斜面積合計			3095.749

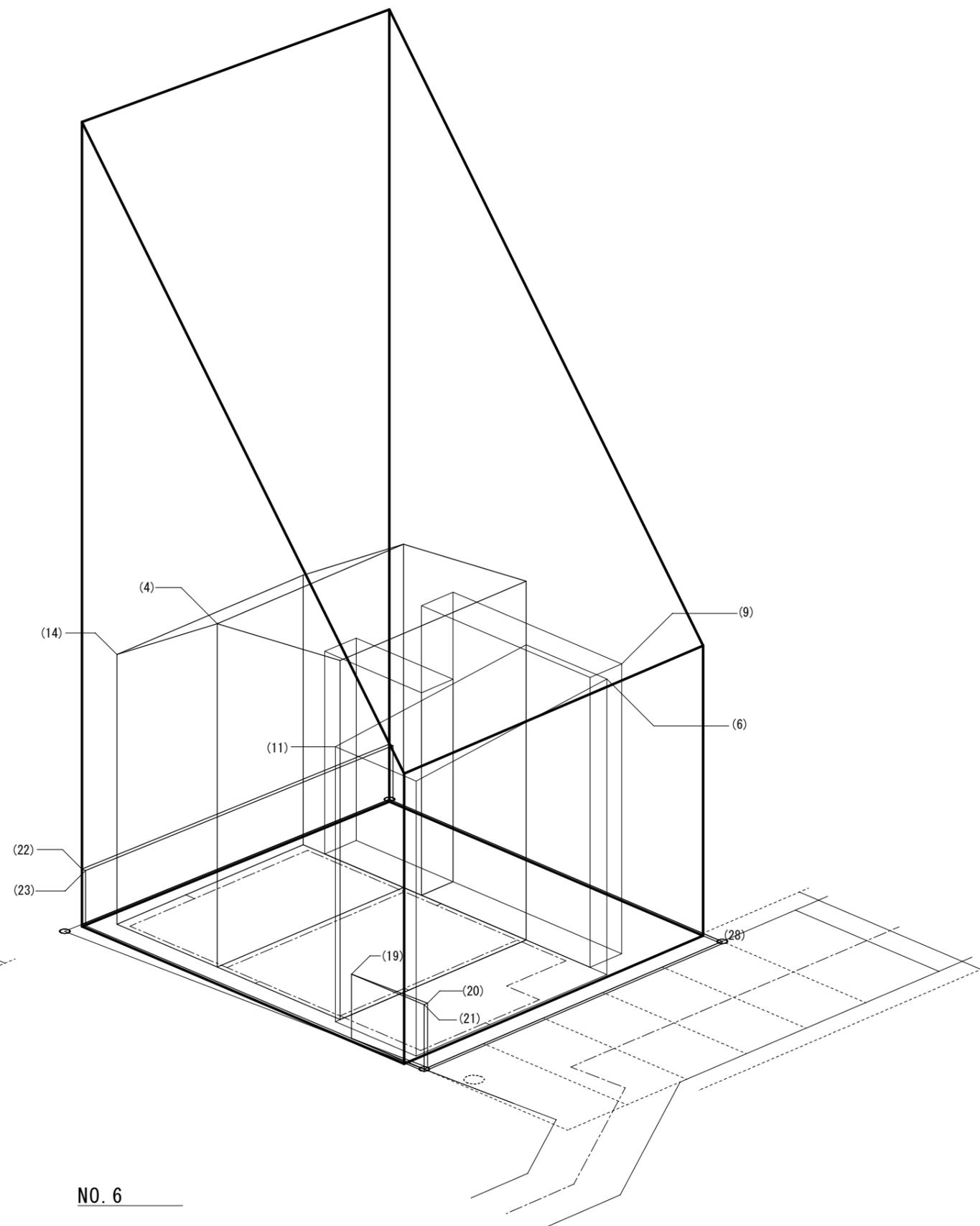
扇形面積 (扇形中心角 = 64.436°) 5623.063  
 扇形面積 - 三斜面積合計 = 水平円射影面積 2527.314  
 No. 6 天空図円面積 31415.926  
 $(31415.926 - 2527.314) / 31415.926 * 100 = 91.955$   
 切り捨て↓  
 《計画建物用》三斜計算 天空率 = 91.955 %

測定点 No. 6  
 正射影 測定面高さ = -0.050 m  
 建物位置確認表 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 《計画建物用》

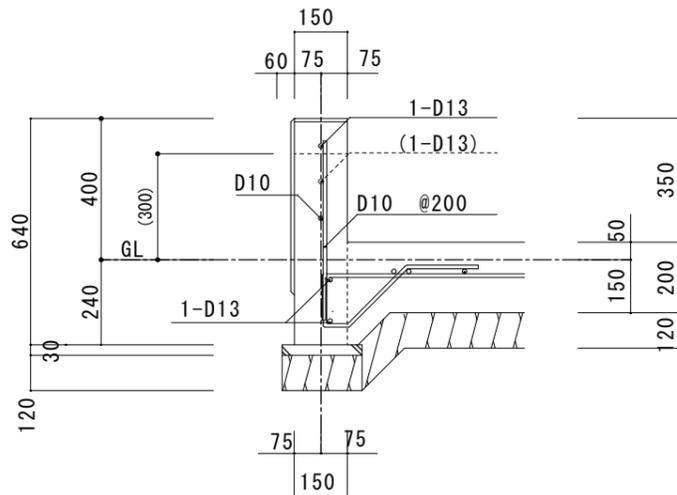
位置 No.	配置図		天空図		
	距離 (実寸m)	高さ (実寸m)	方位角 (°)	仰角:h (°)	R*cos(h) (図寸mm)
(4)	10.215	7.533	-92.468	36.407	80.482
(6)	7.229	6.483	-141.146	41.884	74.450
(9)	8.212	6.361	-142.444	37.762	79.056
(11)	6.792	6.036	-92.615	41.626	74.750
(12)	4.546	6.036	-93.910	53.015	60.160
(14)	13.013	5.926	-91.937	24.484	91.007
(19)	6.009	1.450	-89.871	13.565	97.210
(20)	4.001	1.450	-91.361	19.920	94.017
(21)	4.000	1.450	-89.927	19.926	94.014
(22)	13.494	1.250	-89.809	5.292	99.574
(23)	13.394	1.250	-89.810	5.332	99.567
(28)	9.230	0.050	-154.245	0.310	99.999



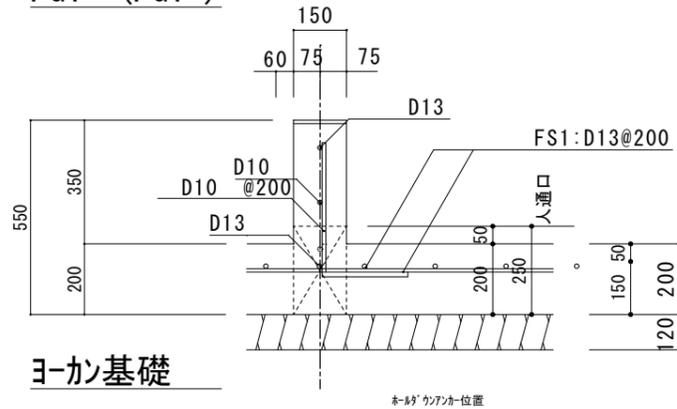
NO. 1~5



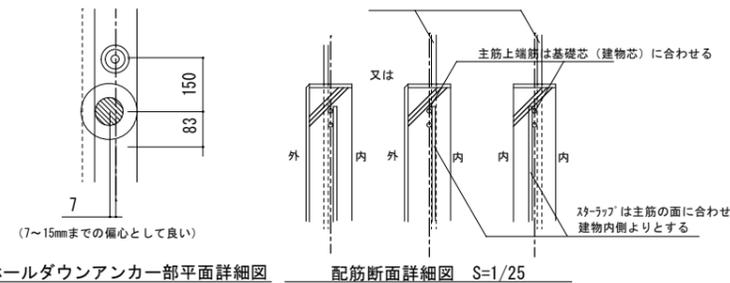
NO. 6



FG1 (FG1')



ヨーカン基礎



※地耐力については30KN/m<sup>2</sup>以上が得られるものとする。

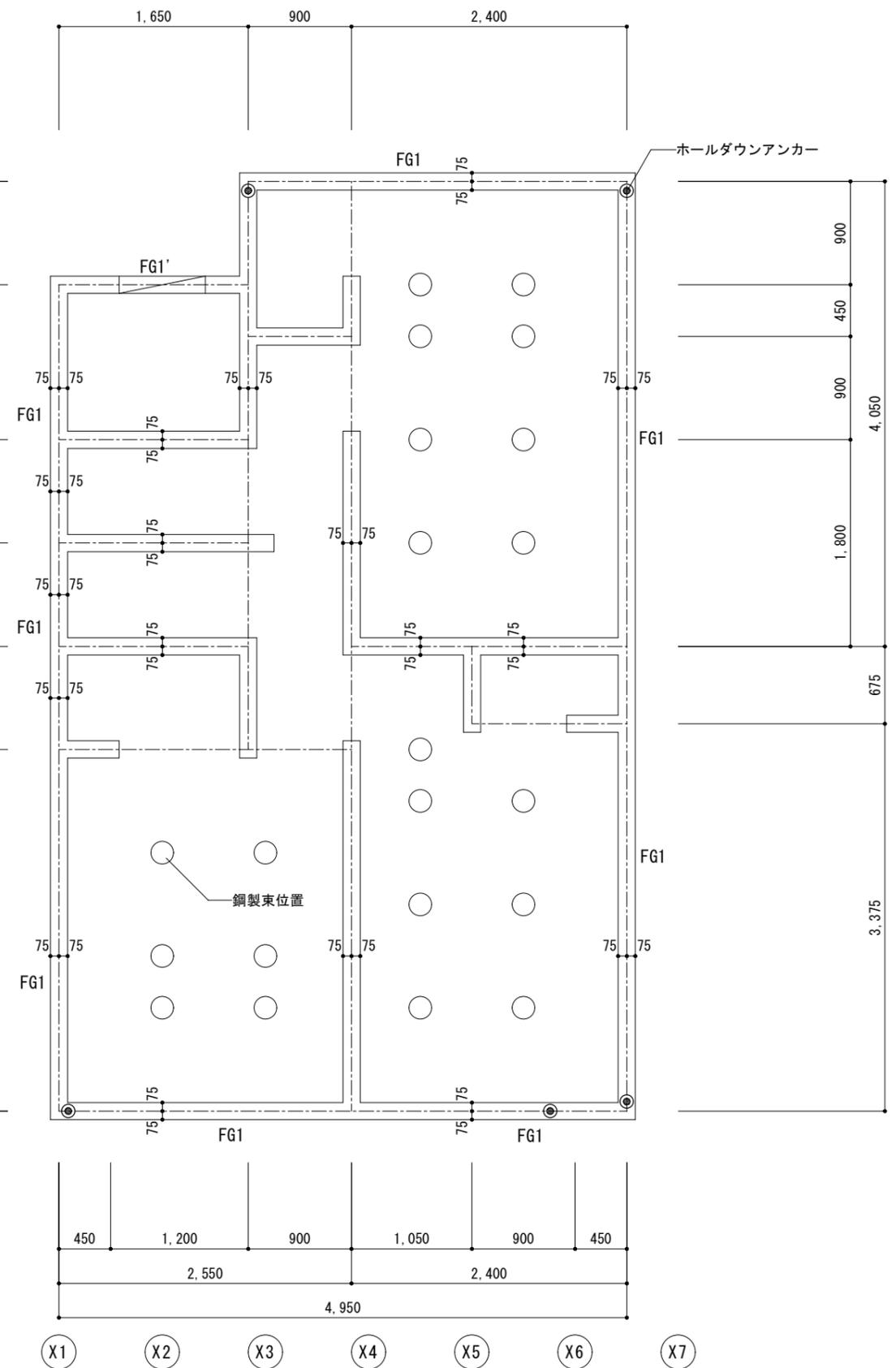
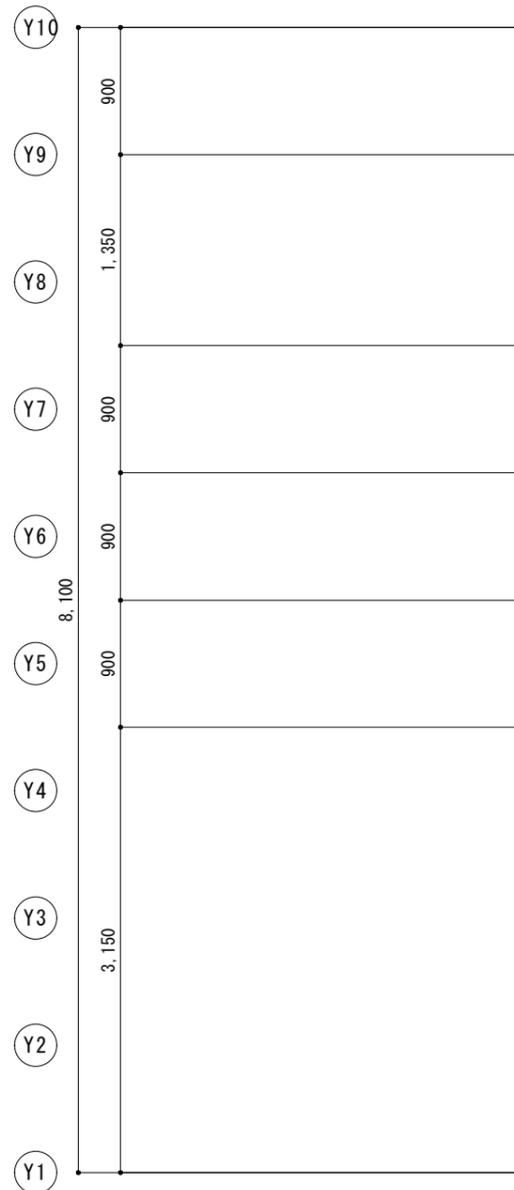
コンクリート 設計基準強度 21N/mm<sup>2</sup> スラング 18cm 鉄筋 SD295

※ 特記なきはヨーカン基礎とする。

※ 主筋上端筋を基準線中心に配筋すること

※ ホールダウンは基礎の直接緊結する事。

特記事項	凡例	
アンカーボルトは基準線より100mmずれを基本とする。	●	アンカーボルトM12 L=400 2700以内
ホールダウン用アンカーボルトは基準線より98mm、83mmとする	◎	スクリー座金を使用すること。
ホールダウン用アンカーボルトの偏心(7mm)指定箇所に注意すること	□	ホールダウン用アンカーボルトM16
ホールダウン用アンカーとアンカーボルトの離れは150mmとする		柱脚金物 PB-42
		継手アンカーボルトは150mmずれとする。



耐力壁倍率

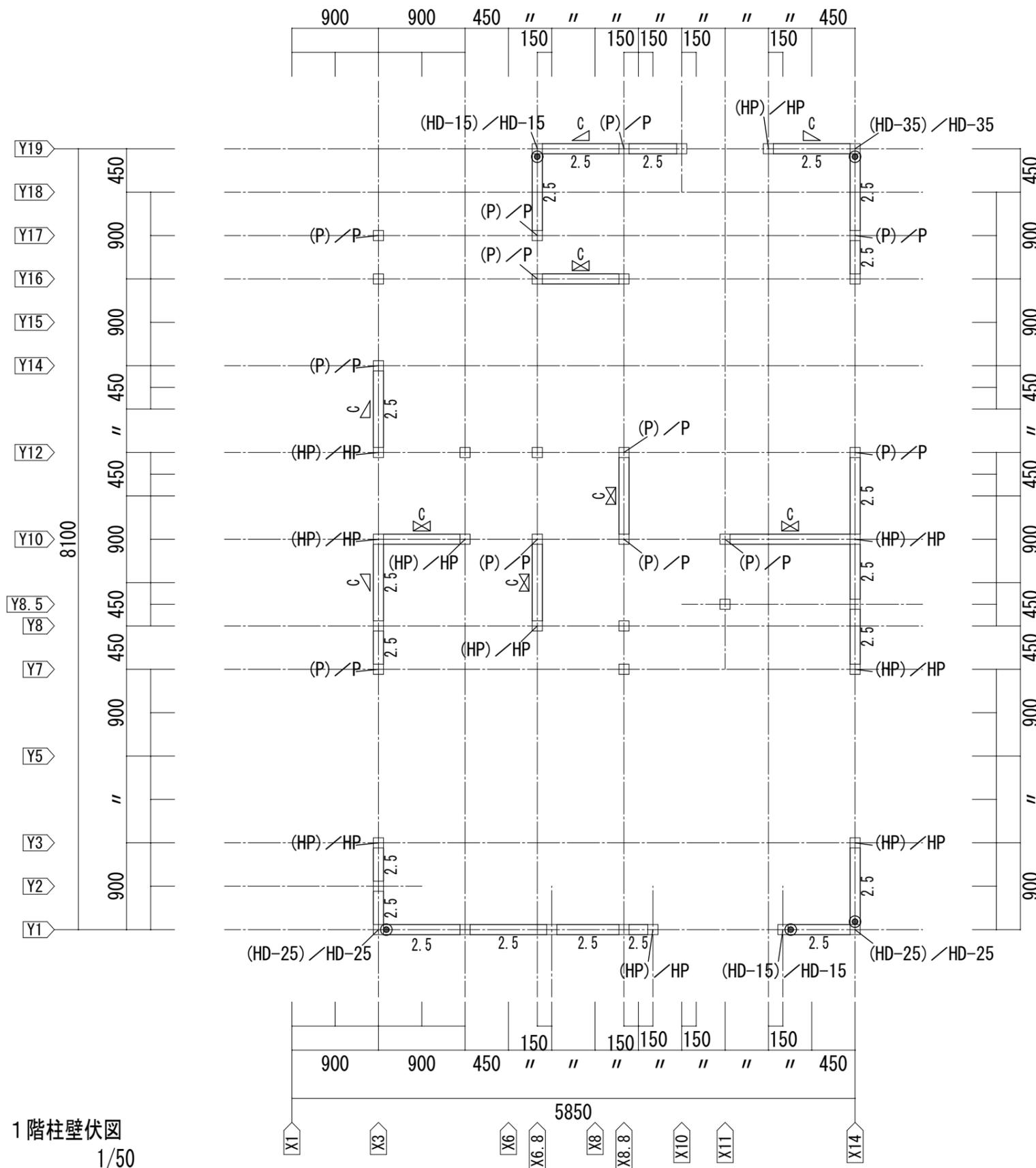
倍率 2.5: 2.5 構造用合板  
 倍率 5: 2.5+2.5 構造用合板両面貼

 筋違 45×90(シングル)  
 筋違 45×90(ダブル)

引抜き耐力

P 6.7KN コンパクトコーナー合板用  
 HP 10.0KN ホールダウンコーナー合板用  
 15 15.6KN ビス止めホールダウン U15  
 20 20.9KN ビス止めホールダウン U20  
 25 28.7KN ビス止めホールダウン U25  
 35 35.4KN ビス止めホールダウン U35  
 60 60.0KN 高耐久フレックスホールダウン60

金物の表記 ( )付きは柱頭金物を示す



1階柱壁伏図  
 1/50

耐力壁倍率

倍率 2.5: 2.9 構造用合板貼  
 倍率 5: 2.5+2.5 構造用合板両面貼

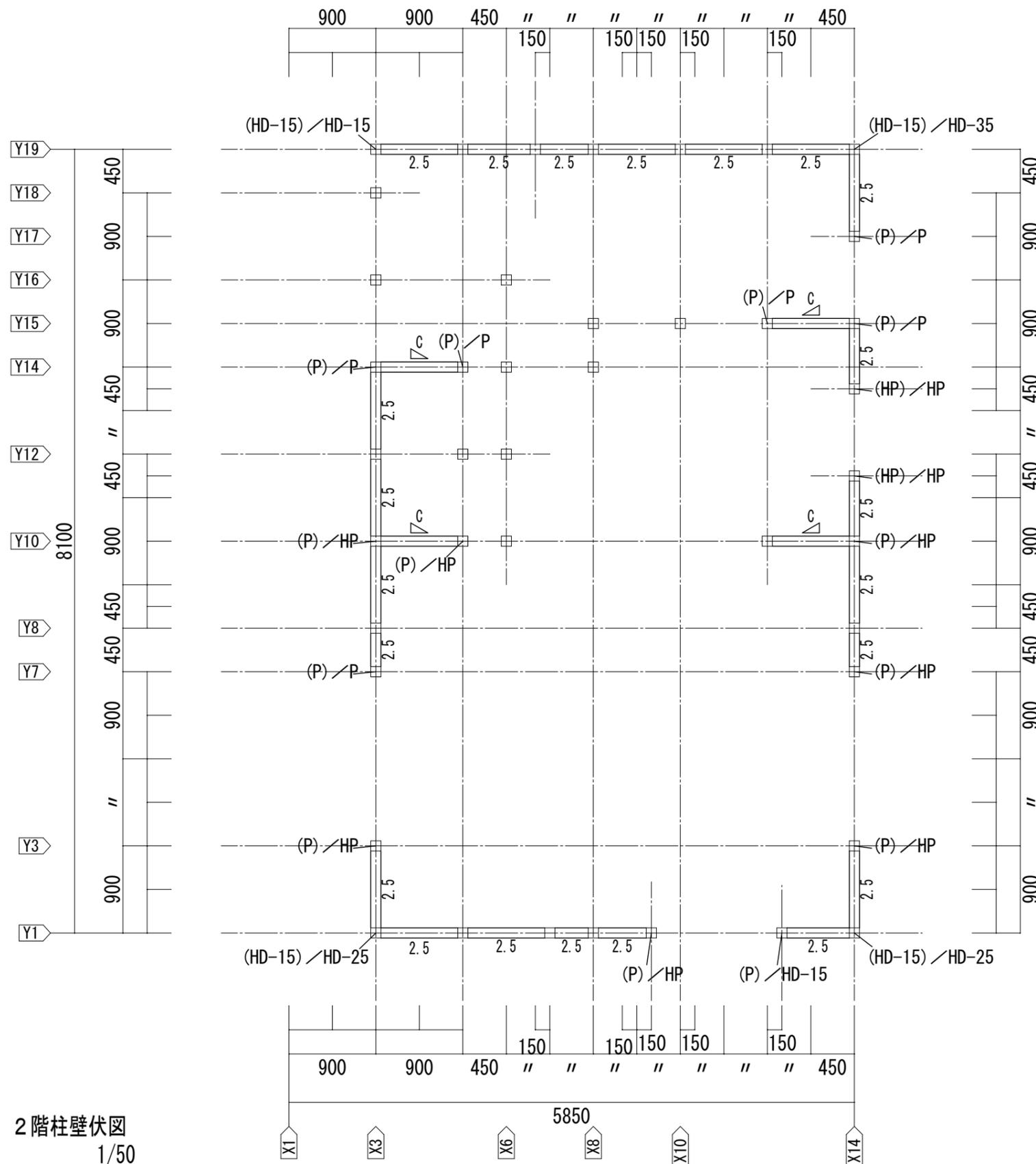
 筋違 45×90(シングル)  
 筋違 45×90(ダブル)

引抜き耐力

P 6.7KN コンパクトコーナー合板用  
 HP 10.0KN ホールダウンコーナー合板用  
 15 15.6KN ビス止めホールダウン U15  
 20 20.9KN ビス止めホールダウン U20  
 25 28.7KN ビス止めホールダウン U25  
 35 35.4KN ビス止めホールダウン U35  
 60 60.0KN 高耐久フレックスホールダウン60

金物の表記 ( ) 付きは柱頭金物を示す

① : P	耐力	1階		2階		合計
		柱頭	柱脚	柱頭	柱脚	
① : P	6.700	12	12	14	6	44
② : HP	10.000	10	10	2	9	31
③ : HD-15	15.000	2	2	4	2	10
⑤ : HD-25	25.000	2	2	0	2	6
⑥ : HD-35	35.000	1	1	0	1	3



2階柱壁伏図  
1/50

副

別記様式第10

(都市計画関係)

許可 第 号  
H30都法許可練馬区01195

許 可 書

申請者

有限会社 鈴木栄宅  
代表取締役 鈴木 浩

平成34年1月31日付で申請のあった 建築物 については、都市計画法第53条第1項 の規定により、下記のとおり許可する。

平成 34. 2月 - 5日

練馬区長 前川 耀 男



記

1 敷 地 の 位 置	練馬区 大泉町 6-48-102
2 構 造	木造2階建て
3 工 事 種 別 (該当事項を○で囲んでください。)	<input checked="" type="radio"/> 新築、 <input type="radio"/> 増築、 <input type="radio"/> 改築、 <input type="radio"/> 移転、その他 ( )
4 敷 地 面 積	80.49 m <sup>2</sup>
5 建 築 面 積	40.10 m <sup>2</sup>
6 延 べ 床 面 積	78.71 m <sup>2</sup>
7 条 件	

許可通知書

第 H30建法許可練馬区00100 号

平成 30年 1月 28日

申請者 有限会社 鈴美住宅  
代表取締役 鈴木 浩 様

練馬区長 前川 耀男



1. 申請年月日 平成 30年 12月 28日
2. 建築場所又は築造場所 練馬区大泉町六丁目48番102
3. 建築物若しくは工作物又はその部分の概要

建築物の概要 (主要用途)	一戸建ての住宅
(工事種別)	新築
(階数)	地上2階建
(構造)	木造
(建築面積)	40.10 m <sup>2</sup>
(延べ面積)	78.71 m <sup>2</sup>

上記による許可申請書及び添付図書に記載の計画について、建築基準法第43条第2項第2号の規定に基づき、下記の条件等を付して許可しましたので通知します。

記

- 建築基準法第92条の2の規定により許可に付する条件は次のとおりとする。
- ・隣地境界線から建築物までの保有距離は、有効 500mm以上とすること。
  - ・通路後退位置をコンクリート杭等で明示すること。
  - ・準耐火建築物とすること。

(注意)この通知書は、大切に保存しておいて下さい。

教示文は別紙のとおり

## 別紙

### (教示)

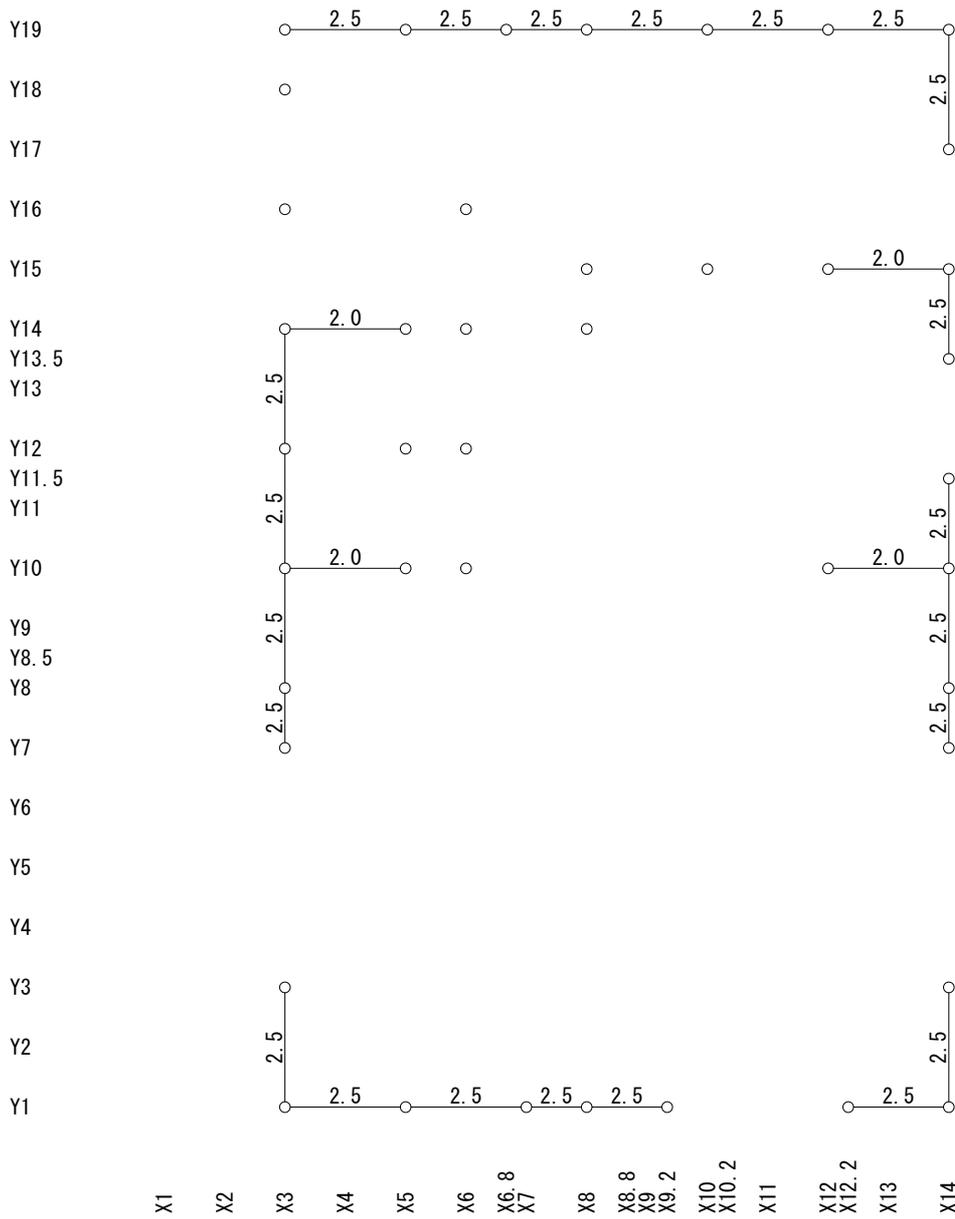
この決定に不服があるときは、この決定があったことを知った日の翌日から起算して3月以内に、練馬区建築審査会に対して審査請求をすることができます（なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して3月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると審査請求をすることができなくなります。）。

また、この決定については、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、練馬区を被告として（訴訟において練馬区を代表する者は練馬区長となります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。ただし、前記の審査請求をした場合には、処分の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に提起しなければなりません（なお、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、当該裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

2. 耐力壁の設計

2.1. 耐力壁の配置と有効壁長 L d (令 4 6 条)

2階耐力壁の配置



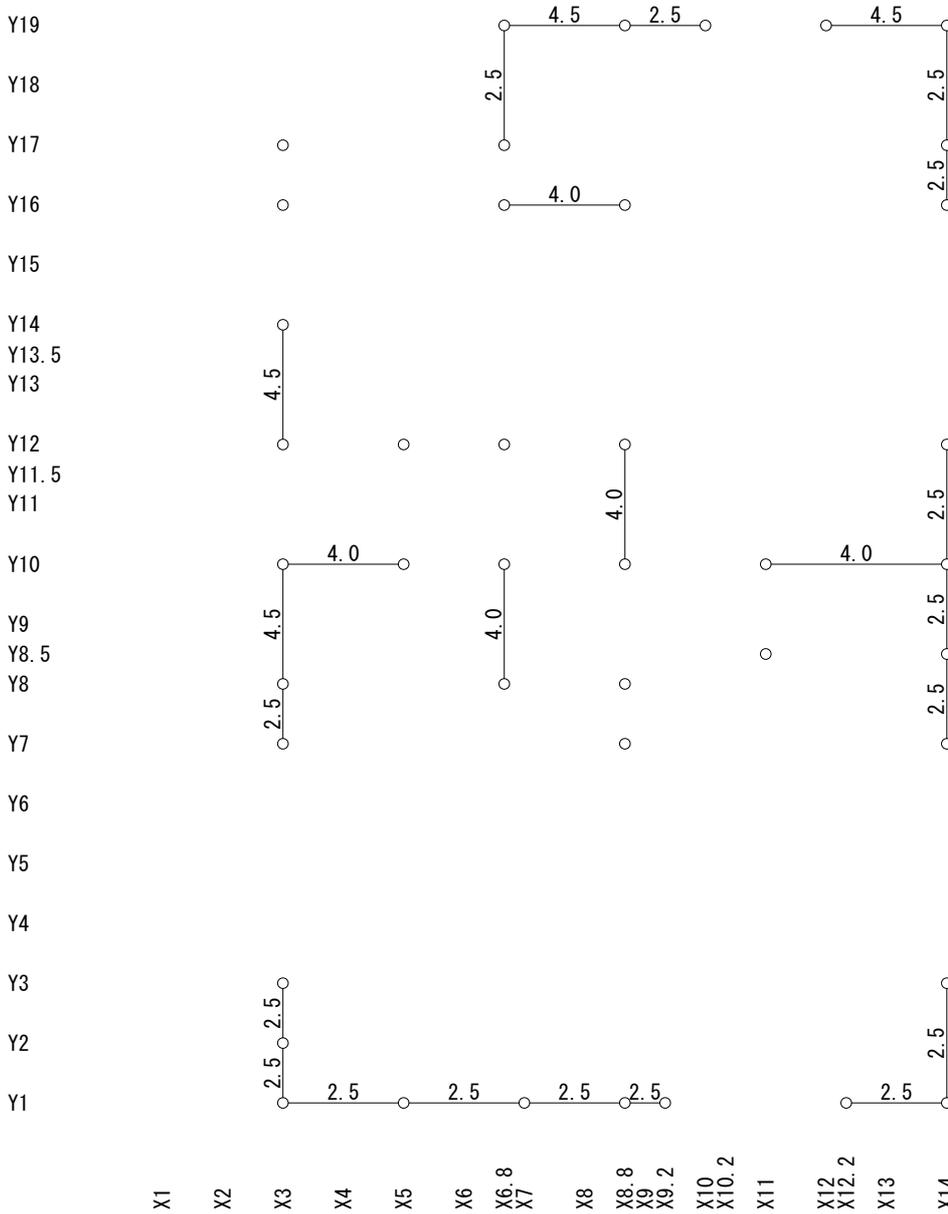
2階 X 方向

通り	$\alpha ili$	$Ld = \sum \alpha ili$	$Pi(\alpha ili \times 1960)$ (N)
Y1	2.5 × 3.600	9.000	17640
Y10	2.0 × 1.800	3.600	7056
Y14	2.0 × 0.900	1.800	3528
Y15	2.0 × 0.900	1.800	3528
Y19	2.5 × 4.950	12.375	24255
計		28.575	56007

2階 Y 方向

通り	$\alpha ili$	$Ld = \sum \alpha ili$	$Pi(\alpha ili \times 1960)$ (N)
X3	2.5 × 4.050	10.125	19845
X14	2.5 × 4.500	11.250	22050
計		21.375	41895

1階耐力壁の配置



1階X方向

通り	$\alpha ili$	$Ld = \sum \alpha ili$	$Pi(\alpha ili \times 1960)$ (N)
Y1	2.5 × 3.600	9.000	17640
Y10	4.0 × 2.250	9.000	17640
Y16	4.0 × 0.900	3.600	7056
Y19	2.5 × 0.600 4.5 × 1.800	9.600	18816
計		31.200	61152

1階Y方向

通り	$\alpha ili$	$Ld = \sum \alpha ili$	$Pi(\alpha ili \times 1960)$ (N)
X3	2.5 × 1.350 4.5 × 1.800	11.475	22491
X6.8	2.5 × 0.900 4.0 × 0.900	5.850	11466
X8.8	4.0 × 0.900	3.600	7056
X14	2.5 × 4.500	11.250	22050
計		32.175	63063

2.2. 令46条に定める壁量の算定  
2.2.1. 地震力に対する所要壁長の表

軽い屋根として設計  
地盤種別 2種 (1.0)

階	床面積 (m <sup>2</sup> )	ロフト面積 (m <sup>2</sup> ) A	ロフト高さ (m) h	追加面積 (m <sup>2</sup> ) (h / 2.1) × A	合計床面積 (m <sup>2</sup> )
2	40.10	15.59	1.40	10.39	50.49
1	38.61	0.00	0.00	0.00	49.00

階	床面積 m <sup>2</sup>	単位壁長 m/m <sup>2</sup>	地盤種別	所要壁長 m
2	50.49	0.150	1.0	7.574
1	49.00	0.290	1.0	14.211

2.2.2. 風圧力に対するL<sub>n</sub>の表  
X方向の壁長

階	各階見付面積 A <sub>w</sub> (m <sup>2</sup> )	Σ A <sub>w</sub> (m <sup>2</sup> )	所要壁長 Σ A <sub>w</sub> × 0.50
2	21.97	21.97	10.99
1	22.36	44.33	22.17

Y方向の壁長

階	各階見付面積 A <sub>w</sub> (m <sup>2</sup> )	Σ A <sub>w</sub> (m <sup>2</sup> )	所要壁長 Σ A <sub>w</sub> × 0.50
2	18.72	18.72	9.36
1	15.66	34.38	17.19

2.2.3. L<sub>d</sub>/L<sub>n</sub>の比率の表

		風力に対して				地震力に対して			
		X方向		Y方向		X方向		Y方向	
		壁長	L <sub>d</sub> /L <sub>n</sub>	壁長	L <sub>d</sub> /L <sub>n</sub>	壁長	L <sub>d</sub> /L <sub>n</sub>	壁長	L <sub>d</sub> /L <sub>n</sub>
2階	L <sub>d</sub>	28.58	2.60	21.38	2.28	28.58	3.77	21.38	2.82
	L <sub>n</sub>	10.99		9.36		7.57		7.57	
1階	L <sub>d</sub>	31.20	1.41	32.18	1.87	31.20	2.20	32.18	2.26
	L <sub>n</sub>	22.17		17.19		14.21		14.21	

2.2.4. 偏心率の計算 (告示第1352号)

方向	階	O <sub>y</sub> (m)	G <sub>y</sub> (m)	e <sub>y</sub> (m)	J <sub>x</sub> +J <sub>y</sub> (kN・m <sup>2</sup> /rad)	r <sub>ex</sub> (m)	R <sub>ex</sub>	
X→	2	4.688	4.468	0.220	133525	4.293	0.051	≦ 0.3 OK
	1	4.387	4.439	0.053	137884	3.877	0.014	≦ 0.3 OK
X←	2	4.688	4.478	0.210	133641	4.313	0.049	≦ 0.3 OK
	1	4.387	4.439	0.053	137884	3.877	0.014	≦ 0.3 OK

方向	階	O <sub>x</sub> (m)	G <sub>x</sub> (m)	e <sub>x</sub> (m)	J <sub>x</sub> +J <sub>y</sub> (kN・m <sup>2</sup> /rad)	r <sub>ey</sub> (m)	R <sub>ey</sub>	
Y↑	2	3.234	3.474	0.239	133513	4.640	0.052	≦ 0.3 OK
	1	3.170	3.216	0.046	137884	3.818	0.012	≦ 0.3 OK
Y↓	2	3.234	3.474	0.239	133653	4.643	0.052	≦ 0.3 OK
	1	3.170	3.216	0.046	137884	3.818	0.012	≦ 0.3 OK